

知立駅周辺 まち育て ワークショップ

振り返り通信 vol.05

第5回
知立駅周辺エリア
まち育てワークショップ
の報告です。

2023 年
2 月 18 日 (土)
13:30～16:00



未来のすごし方を創造しよう (3)

小さなアクションからはじめるプロセスを描く



全5回ワークショップ

- | | |
|-----|-----------------------------------|
| 第1回 | 10月15日 土
こんな地域がいいな |
| 第2回 | 11月19日 土
まち歩きで未来を想像しよう |
| 第3回 | 12月10日 土
未来のすごし方を創造しよう (1) |
| 第4回 | 1月14日 土
未来のすごし方を創造しよう (2) |

- | | |
|-----|---|
| 第5回 | 2月18日 土
未来のすごし方を創造しよう (3)
—小さなアクションからはじめるプロセスを描く— |
|-----|---|

これから姿を大きく変える知立駅周辺エリアの未来をみんなで考え、暮らしやまちを豊かにするための連続ワークショップを開催しています。(全5回)

2月18日に開催された第5回には、市民、学生、専門家、行政、約30名が集まりました。「未来のすごし方」の実現にむけ、来年度からでもはじめられるような小さなアクションからプロセスを描きました。参加者からは、目標のために学びたい事が何か、またどんな担い手の仲間を増やしたいか、どう伝えたらいいか、といった具体的なアイデアが出されました。

当日の流れ

1



振り返り

前回の流れについて、配布された「振り返り通信」で確認しました

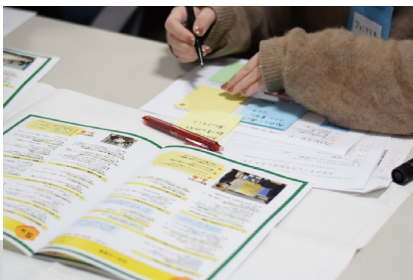
2



事例紹介

地域主導でまちづくり構想をつくり実現してきた名古屋錦二丁目地区の事例発表がありました

3



実現したい目標の設定

前回の振り返り通信をヒントにしながら、あらためて実現したい目標を各々で設定します

4



プロセスカードの記入

目標に向かって、「学びたいこと」「仲間集め」「伝え方」のポイントを記入します

5



語り合い

カードを発表し、新たに出てきたアイデアなどを追記していきます

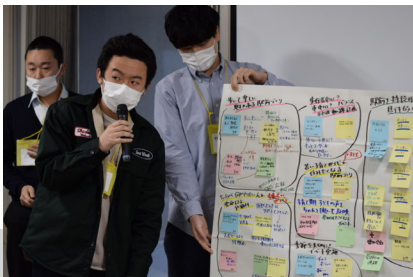
6



場所との関係

地図でアイデアを実施する場所を確認しました

7



全体発表

班の成果を全体で共有しました

8



今後に向けて

発表を受けて、テーマの整理と次年度の進め方のイメージを共有しました

1 班

担い手が減り、一部の人だけのお祭りになって、騒音苦情などになっているのは残念。地域も参加して一体となって、まつりを盛り上げ、若い人に継承していきたい。



夜だけでなく昼間の賑わいや 集まれる場をつくる

目標 知立と言えば「カキツバタ」「あんまき」だけではなく、いつも何かやっている場所というイメージがあるようにする。

学びたいこと

キッチンカー出店者から話をきき、駅前に自由な出店を呼び込む要件を学ぶ

仲間集め

スペースがあるだけではにぎわいは生まれないので、担い手(利用する人、何かを興す人)をどう受け入れ、巻き込んでいくかが大切になる。利用したい人を受け入れ、相談ができるプラットフォーム(窓口)が必要。誰がこの役割を担えるか？まちづくり会社？

伝え方

いろんな使い方を見せることが宣伝にもなる。新たな担い手の発掘にもなる。まずは使ってもらってトライ＆エラーから学ぶ。

目標 憩えるスペースづくり

学びたいこと

- ・豊田市のとよしばの取り組み
- ・“宿場”町としての知立＝憩える場所としての知立のイメージづくりについて考える。

仲間集め

高校生や大学生、子育て関係者など利用者と一緒に考えたい。実施に向けコンサルティングする人

伝え方

SNS

目標 誰もが参加できる、発表できる、楽しめる空間の創出。若者のパフォーマンススペース

学びたいこと

- ・旬な話題、恒常的に人気のあること、やりたいけどやれないことなどをリサーチする。
- ・子どもやシルバー世代、市民全般の場を利用する人。
- ・駅前空間を利用して巨大スクリーンでゲーム大会をしている三河安城の取り組み

仲間集め

まちづくりに関係する団体や行政(許可申請など関わる部署など)、知立市以外の同じような団体と相互関係をつくる。例) 今回の岡崎市と連携したドリームマルシェなど好例。市外の団体などとも連携する。

伝え方

市の広報誌、商店街組合、駅前のデジタルサイネージ、KATCH ネットワークなど。SNS

地元のお祭りを盛り上げる

目標 お祭りのときなどに、沿道の住居や建物の軒先に提灯をぶらさげて一体感を出す。

学びたいこと

地元のお祭りについて携わっている方に話をきく。特に若い人たちの中から。例) 名古屋のみなと祭りについて学ぶイベント(授業)を企画している大ナゴヤ大学の事例。

仲間集め

沿道に住んでいる人に声をかける。お祭りをやっている人

伝え方

直接、各戸を訪問する

駅前の変化を記録し、 残すアーカイブの取り組み

目標 定点写真による記録の保存

学びたいこと

- ・KATCH さんをはじめとするメディアの方に編集について学びたい。
- ・雑誌を出されている「樹林舎」さんに写真について学びたい。

仲間集め

沿道に住んでいる人。ドローンを個人で撮影・記録などされている方、過去の写真は市内外の人に呼びかけると、昔の写真も集められるかもしれない。

伝え方

YouTube 動画などでの公開。駅前のデジタルサイネージでの放送。定点撮影したものを編集して変遷を短い動画にまとめる。知立市の若手職員が発信しているインスタグラムの活用。ハッシュタグ(＃)を付けて市民参加で共有。

目標 高架下か駅前広場で飲食や物販のチャレンジスペースを設ける

学びたいこと

シェアキッチン事例。浜松の「黒板とキッチン」。笠寺の「かさでらのまち食堂」など。

仲間集め

今後新しく店舗を出店する人。友達同士で事業をやりたい人。マルシェ関係者。

伝え方

市の広報誌、インターネット、地域情報の発信

目標 駅前周辺広場で観光イベント、音楽イベントの実施

学びたいこと

歴史観光、多ジャンルのイベント、既に成功している町の研究。例) 名古屋市の「アッセンブリッジ・ナゴヤ」(街中での音楽イベント)

仲間集め

演奏家団体、観光関係者

伝え方

マスコミ、広報、SNS

進め方の ポイント

仲間集め

- ・プラットフォームとなる組織運営と窓口があると良い
- ・スペースを利用したい人を受け入れ、相談ができる
- ・若者、子育て関係など多様な人や、他地域との連携など

2 班



歩いて楽しい魅力ある駅前づくり

目標 魅力ある店が並ぶ駅前、駅周辺。

学びたいこと

イベントの企画力、建物などの見た目の統一感の出し方、歩きたくなる緑の割合
静岡市人宿町（駅から 15 分の場所なのに人が集まっている）や岡崎市の川沿い（桜城橋～籠田公園のあたり）の他地域の話聞く

仲間集め

学生（にぎわいの創出には若い力が大事）、商工会、行政、建築デザイン（統一感のあるデザインや事業者誘致を進めるため）、不動産
学生に関わってもらうために、学生割引のアパートなどが整備できると良い。割引の代わりに、イベントなどの手伝いをしてもらうことを入居条件とするなど

目標 歩行者も車利用者も安心安全に利用できる
知立駅のロータリー整備

学びたいこと

現在の利用者などのニーズを把握する（安全性・利便性の調査）

ちっちゃく何かやりたい人が実施できる仕組み

目標 カジュアルに参加できるイベントを公園で行っていきいたい。（e-sports、VR 系）

学びたいこと

- ・参加したい、手伝いたいと思うイベントの作り方
- ・ボランティアする側も楽しい仕掛け方
- ・気づいてもらえる、広告としての SNS の使い方

仲間集め

中高生にボランティアを募りたい（中高生は制服があるため、統一感があって良い）

伝え方

回覧板だけだと学生には届かない。SNS を使い、若い世代がキャッチしやすいようにしたい。

季節を大切にイベント実施！

目標 季節感のあるもの（イベントなど）を大切にする

学びたいこと

イルミネーション、桜祭りなど、他市の実践事例を聞く

仲間集め

実行委員会形式で、やりたい人が集まると良い。誰でも参加しやすいようにする。広報で募集するなど市民参加型で実施。

伝え方

幅広い世代向けに広報知立・回覧板を使う。若い世代に向けては公式 LINE を使う。ポップで楽しいもの、動画などのコンテンツが重要。

若い・子育て世代&子どもが住みたくなる駅前づくり

目標 子育て世代中心の関係人口を増加させ→移住・定住に繋げる

学びたいこと

ママさん、パパさんがつながる既存の団体の話を聞く。（子どもがほしいもの、興味のあるものを知りたい。）

仲間集め

保育園、幼稚園、：教育関係、おやじの会など

伝え方

イベントや小さな図書館など、映像もあると良い

駅前を持続可能なまちづくりのモデルエリアへ

目標 持続可能なまち、環境に優しい風景（地産地消の好循環／環境に優しい移動）

学びたいこと

- ・具体的な学びの場（再エネ設置／オール電化／ソーラー設置／脱プラスチック／木材利用／地産地消／エコなモビリティ）
- ・持続可能なまちづくりで先進的な地域について（例：長野県飯田市）

仲間集め

- ・具体的な学びの場（市、電力会社）
- ・再エネ設置／オール電化／ソーラー設置（建物所有者や管理者、電力会社）補助金など導入を下げる制度整備
- ・脱プラスチック／木材利用／地産地消（商店主、商工会、消費者）
- ・エコなモビリティ（モビリティ事業者、行政）

伝え方

- ・具体的な学びの場（学校などとも連携する）
- ・再エネ設置／オール電化／ソーラー設置（PPA 等、自己負担のない仕組みを積極的に P R）
- ・脱プラスチック／木材利用／地産地消（イベント時に関連企業がブース出展）
- ・エコなモビリティ（バス停広告、駅前広告、スマートポール）

進め方のポイント

伝え方

回覧板は若い人には伝わらず、SNS は高齢者は見ない。広報誌、市の LINE、そのほかの SNS など、幅広い世代に合わせた発信が必要

3 班



駅前広場や高架下などの空間を活用した 日常・非日常のにぎわい作り

目標 高架下の有効活用

学びたいこと

現在高架下を活用できている駅の見学を行い、知立駅に適した形を学ぶ。

仲間集め

見学に基づき必要な相手に声をかける。民間企業など、店舗の出店をしてもらえる相手を探す。

目標 公共空間（公園・歩道）を使ってにぎわいを作りたい。

学びたいこと

マルシェなどイベント出店の経験がある人に、出店しやすい条件を聞く。

仲間集め

出展者をとりまとめるチーム・サイトを作る。

目標 SDGs をコンセプトにしたにぎわい作り（例：平日夕食前のフードロスマルシェや、竹あかりアート）

学びたいこと

フードロスマルシェの場合…食品を必要とするこども食堂、廃棄ロスを目指す飲食店・スーパー・コンビニなどとの繋がりが現状の把握をする。
竹あかりアートの場合…竹業者や竹あかり経験者との繋がりが作りや、実施方法を学ぶ。

仲間集め

SDGs 関連者、調理スタッフ、竹業者、高校生を巻き込みたい。

目標 駅前広場で、並ばなくても良い飲食店のデリバリーシステム

学びたいこと

公園での配達システムや、近隣の飲食店からテイクアウトする仕組みを学ぶ。

仲間集め

仕組みができることがメリットになる人を中心に集める。売上げ増を見込む近隣の飲食店、配達アルバイト、注文ツールの会社など。

伝え方

知立駅の駅ナカ・駅前・改札近辺のポスター、チラシ、サイネージ、市の HP や LINE 発信、各関係施設や関係者の SNS で広報を行う。また、地元の人を巻き込む内容は回覧板や町の掲示版、仕事や学校帰りの人々をターゲットにした企画は駅ナカ・駅前・電車内（中吊り広告など）での広報に力を入れる。

知立の魅力を発信する仕組みづくり

目標 知立市らしさのある街づくり

学びたいこと

現存する歴史的価値のある知立のもの

仲間集め

市の文化課や、〇〇保存会といった知立市の歴史や文化遺産をすでに行っている組織と連携する。

目標 市内外の人に知立の魅力を知ってもらいたい。

学びたいこと

山車の歴史や組み立て方、お祭りの内容や由来（開催場所の神社や祭りの保存会より）

仲間集め

会の運営から配信までを一貫して行うチーム体制をとる。

知立の人には当たり前のことでも、ママ知識などプチ情報として SNS で発信すると、若者に伝わるかも

伝え方

リアルで開催すると共に、動画アーカイブを残して Youtube 等でいつでも見られるようにする。

目標 音楽を通じたにぎわい作り、常に音楽が流れる町

学びたいこと

知立出身の演奏家と知り合う。街中からコンサートホールまで、どのように演奏する機会を作っていけるか。

仲間集め

知立リリオ・コンサートホール運営スタッフ、知立周辺の音楽教室、知立駅を利用する音楽科の学生など、知立市で音楽に携わる人に声をかける。

伝え方

知立駅を降りたらすぐに知立らしさを感じられる・理解できるような、看板、音楽、地図などの設備を整える。経済課、文化課が連携して市民や駅利用者へ情報発信を行う。知立駅の駅ナカ・駅前・改札近辺のポスター、チラシ、サイネージ、市の HP や LINE 発信、各関係施設や関係者の SNS で広報を行う。

住民・利用者に寄り添った街づくり

目標 人々が気軽に立ち寄れる町にしたい

実際に住んでいる人々や駅を利用する人々、当事者の意向を確認したり、周知しながら進めていくことが必要。

学びたいこと

地域の人と話し合い、知立らしさを残しながら人が立ち寄りやすい町について考える。人が立ち寄りやすい、にぎわっている店の統計をとる。

仲間集め

立ち寄るにはどんな施設や空間が必要か、アンケートやコンテスト、学生案の募集を実施し、できるだけ多くの人に「自分に関係のあること」としてとらえてもらう。

伝え方

アンケートは紙だけでなく、若者を対象に QR でも実施する。知人友人に紹介したり、市の LINE で発信を行う。

目標 地権者のまちづくり参加

学びたいこと

どのように土地利用したいのか、当事者の意向を確認する。

仲間集め

区画整理で接点を持つ行政が架け橋となり、協力者を集める。
伝え方：アンケート付きの DM を送付する。



4 班



自分の得意なことをきっかけに エリアに関わってもらおう

目標 自分の得意なことを活かして地域の困り事を解決！！

学びたいこと

人助けが好きな人？
ボランティア活動に取り組んでる人、民生員さん

仲間集め

まずは自分の周りから声をかける

伝え方

何かのイベントに参加してチラシ配り、口コミ（特に主婦層）

できるだけたくさんの人に関わってほしい
人が人を繋げられることはエリアの財産

目標 大きく変わるまちの様子を記録したい、写真を新旧集めたい

学びたいこと

商店街やまちづくり会社の方に話をきいてみたい

仲間集め

駅周辺に住んでいる人、小学校の子どもたちとその家族

伝え方

知立市の LINE、子ども達に家庭で探してもらう！

スツールや空間づくりで わくわく感を高める

目標 これから実施するイベントで使うイスやガーランド、看板などをみんなでつくる

学びたいこと

他の地域であつたら便利なもの気がつけた方がよいこと学びに行きたい

仲間集め

学校への配布 & 子どもたちとその親や新しい住民の方にも参加してほしい！

伝え方

知立市の LINE、新しいマンションの住民の方にも呼びかけ

それぞれが輝くための 全体的なコーディネート

目標 鉄道高架事業、区画整理事業の実現に向けて、歴史的に交通の要衝としての立地を生かし 160 万人商圏を取り込みトレインを活用したパーク構想の実現。（駅周辺賑わい創り（広場）、市営駐車場の所、市役所）

学びたいこと

東京世田谷区下北沢地区小田急、京王電鉄総合駅周辺の再開発地区、その他西欧事例と失敗事例

仲間集め

知立駅周辺の当事者、地権者、商店主、住民、商工会、高齢者、今後知立に住みたい方、不動産業

伝え方

マスコミ・クチコミマーケティングのプロ、ネット、SNS、メディア、広報 伝えたい事柄 出達の要衝
↓（要約）
・多様な世代のやってみようこと・あつたらいいなと思うことを個別に叶えていくことも必要
・その一方で、内容に適した場所や設えを調整する全体的な鳥の目も必要、全体的なゾーニングが肝
・エリアで商売をする当事者がまだ自分事でないのが現状、みんなに伝わるキャッチコピーやブランディング

色んな人にとって居心地のよい 居場所づくり

目標 “知立”を目的に大学生や社会人が訪れるようにしたい！（NOT 通過点）→勉強カフェを作る

学びたいこと

名古屋グローバルゲートスタジオの勉強カフェ
・勉強カフェ渋谷スタジオ

仲間集め

愛教大生や通勤で知立駅を利用される方々を集めて意見交換、アンケート

伝え方

東海地方や愛知県、三河地方の魅力やオススメの場所を紹介しているインフルエンサー（マルさん / どこ行く愛知県民 / 三河カフェ）

愛教大生は2年生から車がOK、
1年生の間は駅を利用する
→必然性を逆手にとれるかも

目標 駅前に子どもから高齢者まで安心して過ごせる居場所をつくる（カフェ・図書館・多目的広場など）

学びたいこと

参考になる地域 ・豊田市のとよしば ・豊橋市の em CAMPUS エムキャンパス

仲間集め

多様な年代、属性の人を集めて、声を反映するチーム

伝え方

若い人→SNS 高齢の方→回覧声かけ

来訪する目的となる場所づくり

目標 公園を作り、大人も子どもも楽しめるような場所、誰でも勉強や仕事ができる空間を作る。図書館兼公園

学びたいこと

知立市はほとんど市街地なので、調整区域の広大な地域も活用して市全体の活性化を図る

仲間集め

民間企業（コンサル、公園）商工会

伝え方

知立市 LINE は登録も多いので有効では、YouTube 等、広報や HP 等見ないとわからないものではなく、一人一人に届くようにする、プッシュ型の情報発信

5 班



★ 東海道の歴史を生かしたまちづくり

目標 駅周辺の皆で取り組む地域特性を生かしたまちづくり

学びたいこと

地元の人から歴史や風習を聞く

仲間集め

山車に参加している方々

★ 知らしきをつくる

目標 駅周辺に「のんびり」できる場所・時間をつくる

学びたいこと

- ・スマホ等デジタル機器のない頃の時間のすごし方
- ・秘境の宿や宿坊みたいなどころでの過ごし方
- ・寺社（遍照院さんなど）に「生きること」の根源を学ぶなど

仲間集め

教えてあげる高齢者と教えてもらう子ども・若者の関係をつくる

伝え方

色鉛筆・クレヨン・絵具を使った紙媒体の回覧・掲示・配布など伝え方ものんびりと、足湯に入りながらの場づくりなどで。

目標 駅周辺に緑空間をつくる

学びたいこと

- ・市民が関わる小さな緑も、計画的な大きな緑についても学びたい。(例：NPO birth など)

目標 知立の「食」の名物をつくる

伝え方

知立らしい食材をつかったグルメイベント企画で名物をつくる担い手を増やす（馬肉、マコモダケ、キャッサバなど）

★ 官民連携で公共空間を使いこなす

目標 南北線沿いにオープンカフェの誘致

学びたいこと

歩道と民地の一体化をした使い方の事例

仲間集め

出店募集する。すでに出店経験のある店に協力を依頼する

伝え方

商工会のキッチンカーの有効活用し P R

★ 商店街と連携した賑わいづくり

目標 アートで個性ある風景と若者のまちをつくる

伝え方

学生や若者を対象としたシャッターペイントのコンペを企画。商店街の人などを審査委員として参画してもらう

目標 高架下を活用した既存商店街の活性化

学びたいこと

- ・下北沢周辺の商店街（古着ショップなどで若者のまちに）

仲間集め

駅周辺の既存商店街、名鉄、行政、商工会

目標 商店街が若者活躍するスタートアップ拠点となる

学びたいこと

- ・実際にイベントや店を運営している人から体験やコツを聞く（岡崎のクルワ構想など）

仲間集め

- ・大学・高校・専門学校から有志をつくる
- ・行政は補助や空き店舗等の情報支援
- ・受入れ側としての商店街（担い手が高齢化しているため、若い人のチャレンジと融合をしかける）

伝え方

SNSなどを用いて募集する

★ 子育て層と共に育むまち

目標 日常的に子どもの声が聞こえてくるようなまち

学びたいこと

- ・「防災ママかきつばた」のお話をきく
- ・地域のサポートを受け、働きながら子育てをする人の話をきく

仲間集め

子育てグループを中心によびかける

伝え方

- ・勉強会の開催場所をカフェ等にする
- ・ママの文化祭など（参考：あいちかすがいっ子）

★ 進め方のポイント

仲間集め

- ・商店街の皆さん、まちの人、外国の方や子育て層など、キーパーソンの元にまずは足を運んで丁寧に呼びかけることが大事
- ・名鉄さんの発信力を借りる

伝え方

- ・SNS講習など、様々な担い手が上手に情報発信をできるようにする

全体共有と今後の進め方について

全体で5つのグループの成果を共有しました。各班毎に「小さなアクションからはじめるプロセス」が提起されました。最後に共通する視点を確認し、今後に向けたイメージを共有しました。



◎共通するテーマについて

- ①居場所づくり—憩いと安らぎの場所を創造しよう
- ②「らしさ」のある空間—歴史や文化に日常的にふれられるように
- ③緑と安全安心—持続可能な多様な環境づくりを
- ④挑戦—空家と若者など課題と人のマッチングを
- ⑤地域の人の参加—地域の歴史に詳しい人や商店街をはじめ、様々なテーマでつながろう

◎次年度からの進め方イメージについて プラットフォームでテーマ毎の学びを経て ビジョンづくりをしていきます

- ①学びの場をしかけよう
- ②地域の人の参加を促そう
- ③真面目よりも気軽さを大事に
- ④記録と広報で人の輪を拡げよう
- ⑤外の地域とつながろう



アンケートより

(1) ワークショップに参加して

- ・実現に向けた可能性を感じた
- ・来年以降この話が具体的にできると思うと楽しみ
- ・今回の取組により、まちづくりのロードマップ作成の実現性が高まったと思った

(2) 印象に残ったこと

- ・地元の方も多く、知立のことが好きなことがよく分かった
- ・再生可能エネルギーの課題について

(3) ぜひ実現させたいこと

- ・市民が集えるスペースは必要だと思います。またそのスペースを運営するプラットフォームも必要だと思います。
- ・ウォーカブルなまちづくり、環境にやさしいまちづくり
- ・大学生も社会人も、子育て世代も高齢者も、子どもたちも、どの世代も知立を目的に訪れ、居場所となるような駅周辺になっていくといいなと思います

(4) ワークショップの運営について

- ・実際に行動に移していくのがいつになるのか。



知立駅周辺エリアまち育てワークショップ 振り返り通信 vol.5

発行日：2023年2月18日

発行：知立市市民部 経済課 商工観光係（0566-95-0125（直通） keizai@city.chiryu.lg.jp）

8 協力：大日本コンサルタント株式会社、NPO 法人まちの縁側育くみ隊